

シラバス

科目名	Web技術Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	根岸 泰子
対象学年	1年後期(ゲーム・情シス)	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	基本的なウェブページの作成方法を学びます。 ・VSCode ・HTML/CSS		
到達目標	基本的なウェブサイトの構築や運営するためのスキルを習得します。		
授業の方法	HTMLとCSSの基本をテキストを使用して学習します。実際のコーディングはVSCodeを使用して効率的に行うことを心がけます。一通り学んだあと、自由テーマでのオリジナルホームページの作成を行います。		
評価方法	積極的な授業参加姿勢を重視し、出席状況15%、授業態度 15%、各学習項目ごとの実習課題35%、総合演習課題40%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	毎回の授業進行に合わせた予習・復習・課題の実施を求めます。		
使用教材教具	1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座 [第2版] (SBクリエイティブ) ¥2,750(税込)		
留意点	正確なタイピング技術を養っておくこと		

授業計画	
1	講義ガイダンス Bracketsと各種拡張機能のインストール Chapter1 最初に知っておこう！Webサイトの基本 Chapter2 HTMLの基本
2	Chapter2 続き
3	Chapter2 続き・練習問題
4	Chapter3 CSSの基本
5	Chapter3 続き
6	Chapter4 フルスクリーンのWebサイトを制作する
7	Chapter5 2カラムのWebサイトを制作する
8	Chapter6 タイル型のWebサイトを制作する
9	Chapter7 外部メディアを利用する
10	既定演習課題
11	既定演習課題
12	オリジナルWebの作成①
13	オリジナルWebの作成②
14	オリジナルWebの作成③
15	オリジナルWebの作成④・提出
16	

シラバス

科目名	Web技術Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	根岸 泰子
対象学年	2年前期(ゲーム・情シス)	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	HTMLだけでは実現が難しい動きのあるウェブページの作成方法を学びます。 ・ PHP ・ MySQL		
到達目標	発展的なウェブサイトの構築方法を身につけます。		
授業の方法	Web技術Ⅰで学んだ内容をベースに、動的Webサイトの構築方法をテキストを通して学習します。実際のコーディングはエディターを使用し、データベースを活用したサイトの作成も学びます。復習課題や総合課題にチャレンジします。		
評価方法	積極的な授業参加姿勢を重視し、出席状況15%、授業態度 15%、中間課題35%、総合課題40%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	毎回の授業進行に合わせた予習・復習・課題の実施を求めます。		
使用教材教具	独習PHP 第4版 山田 祥寛(著) 翔泳社		
留意点	Webサーバーを含む開発環境としてXamppを使用します。		

授業計画	
1	環境設定・解説
2	変数の型・演算子について
3	配列について
4	制御構文について
5	関数について
6	データベースの管理・SQL文
7	PHPからデータベースへの接続
8	データベース演習・Webアプリケーション作成例①パーソナルカラー診断
9	リクエスト情報について
10	Bootstrapについて・Webアプリケーション作成例②サークルサイト
11	Webアプリケーション作成例③お知らせ機能・アルバム機能
12	Webアプリケーション作成例④掲示板機能・セキュリティ対策
13	総合演習課題
14	総合演習課題
15	総合演習課題
16	

シラバス

科目名	Web技術Ⅲ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	根岸 泰子
対象学年	2年後期ゲーム・情シス)	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	プログラミング言語としてJavaScriptを学び、 その応用としてHTMLだけでは実現が難しい動きのあるWebページの作成を行う。		
到達目標	JavaScriptの基礎を身に付け、Webページの作成へも応用する。		
授業の方法	講義形式での説明の後に、実際に入力／実行をし、内容の確認をする。		
評価方法	出席（15%）、授業態度（15%）、課題（30%）、期末試験（40%）にて評価を行う。		
授業時間外に必要な学修	事前の予習／事後の復習を繰り返すことを習慣とし、授業のない日でもコーディングを行う姿勢を。		
使用教材教具	改訂3版JavaScript本格入門 ～モダンスタイルによる基礎から現場での応用まで 単行本 山田 祥寛（著） 教具：ノートPC		
留意点	これまでに学んだ各種プログラミング言語との比較・整理をしっかりと行うように。		

授業計画	
1	動作環境の確認・第1章 イン트로ダクション 第2章 基本的な書き方を身に着ける
2	3章演算子 4章制御構文
3	6章関数
4	9章9-1～9-2HTMLを操作する（DOM）
5	9章9-3属性やテキストの取得
6	9章9-4フォームの操作
7	9章9-5ノードの追加・変更・削除
8	9章9-6イベント処理
9	10章10-1～10-3ブラウザオブジェクトの基本情報
10	10章10-4FetchAPI非同期通信
11	10章10-5Promiseオブジェクト
12	Web技術のまとめ演習
13	Web技術のまとめ演習
14	Web技術のまとめ演習
15	総合課題
16	

シラバス

科目名	セキュリティ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	栗原 誌絵理
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	コンピューターネットワークにおけるセキュリティについての基礎知識を学びます。 またその際に必要な考え方も養います。		
到達目標	身近にある脅威に対して知り、企業内の資産を守る知識を身につけます。		
授業の方法	教科書をベースとした講義と、身近な事例やニュースなどの事例を分析し、対策を考えます。		
評価方法	出席（15％）、授業態度(15%)、課題（30%）、期末試験（40％）によって評価を行います。		
授業時間外に必要な学修	特になし		
使用教材教具	教科書（イラスト図解式 この一冊で全部わかるセキュリティの基本）		
留意点	特になし		

授業計画	
1	セキュリティの必要性
2	セキュリティの三要素
3	個人情報とは
4	セキュリティーポリシー
5	セキュリティに必要な基礎知識
6	パスワードの管理方法と重要性
7	ウィルス・マルウェアの対策
8	セキュリティを考慮した開発工程
9	攻撃を検知・解析するための仕組み
10	セキュリティを脅かす存在と攻撃の手口
11	安全なメールやデータのやり取り
12	セキュリティを確保する技術
13	セキュアOS
14	ネットワークセキュリティ
15	セキュリティ関連の法律・規約・取り組み
16	